

- 問1 都市の人口構造に関する記述として、那覇市（昼夜間人口比率 約109.6%）と、その隣接する豊見城市（同約92.2%）の関係性を正しく説明しているものを選んでください。（2018年 沖縄県公立入試 類似）
1. 那覇市は行政や経済の中心地としての役割が強く、豊見城市是那覇市へ通う人々の住宅都市としての側面が強い。
 2. 那覇市と豊見城市の間で、日中の買い物客の移動が双方向に均等に行われていることを示している。
 3. 那覇市は観光開発によって一時的な滞在者が増えており、豊見城市は農業を中心とした自給自足的な地域である。
 4. 那覇市ではドーナツ化現象により夜間人口が急減しており、豊見城市では都心回帰現象により夜間人口が急増している。
- 問2 九州地方の火山に関連する地理事象とその影響について、背景や理由を含めた記述として最も適切なものはどれですか。（2018年 千葉県公立入試 類似）
1. 火山地帯では地下深くに高温の蒸気や熱水が存在するため、これを取り出してタービンを回す発電方式が、再生可能エネルギーの一つとして活用されている。
 2. シラス台地は養分を豊富に含んだ火山灰で構成されているため、肥料を与えずとも高い収穫量が得られることから、九州最大の野菜供給地となっている。
 3. 活火山周辺では噴火による降灰被害を防ぐため、広大なカルデラ内は居住や農業が厳しく制限され、主に無人の発電施設のみが設置されている。
 4. 火山地帯は地盤が非常に強固であるため、大規模な工業団地や製鉄所の建設に適しており、北九州工業地帯の発展を支える要因となった。
- 問3 沖縄県の県庁所在地である那覇を中心とした距離と方位を示す資料では、那覇から2000キロメートル圏内に、中国、ロシア、北朝鮮、そして東南アジア諸国が含まれることが示されます。このような地理的条件が、日本の安全保障や国際政治に大きな影響を与える状況を説明する用語として、最も適切なものはどれですか。（2023年 神奈川県公立入試 類似）
1. 地政学
 2. 排他的経済水域
 3. 地方交付税交付金
 4. 非核三原則
- 問4 日本の海域における海流の性質と流れについて述べた文のうち、九州の西側から日本海へ向かって流れる暖流の特徴を正しく説明しているものはどれですか。（2022年 群馬県公立入試 類似）
1. 暖かい海水が太平洋沿岸に沿って北上している
 2. 冷たい海水がユーラシア大陸沿いに南下している
 3. 冷たい海水が千島列島付近から南下している
 4. 暖かい海水が南西から北東の方向へ北上している
- 問5 沖縄県に見られる伝統的な家屋の特徴について、その構造と目的の組み合わせとして最も適切なものを選びなさい。（2015年 佐賀県公立入試 類似）
1. 床を非常に高く作る高床倉庫の仕組みを取り入れ、風通しを良くして湿気を防いでいる。
 2. 屋根の瓦を漆喰で固め、周囲を石垣で囲むことで、台風の強風から家屋を守っている。
 3. 外壁を厚い土壁にし、窓を小さく作ることで、冬の寒冷な空気が室内に入るのを防いでいる。
 4. 屋根を急傾斜の茅葺きにし、冬の厳しい積雪の重みに耐えられるようにしている。
- 問6 鹿児島県の農業産出額の構成を他の都道府県と比較したとき、米や野菜の割合が小さく、ある部門が全体の半分以上という極めて高い割合を占めているという特徴があります。この背景と、その部門に該当する内容の組み合わせとして最も適切なものはどれか。（2017年 滋賀県公立入試 類似）
1. シラス台地が広がり稲作に適さない土地が多かったため、肉用牛や豚などの畜産が盛んになった。
 2. 夏の降水量が少ない気候を利用し、オリーブやレモンなどの果樹栽培が盛んになった。
 3. 広大な平野と冷涼な気候を活かし、大規模な機械化による小麦やてんさいの栽培が盛んになった。
 4. 冬でも温暖な気候を活かして、ビニールハウスを用いたピーマンやなすの促成栽培が盛んになった。
- 問7 日本の4つの道県の農業統計において、農業産出額が約4,800億円と全国上位でありながら、米の産出額が占める割合がわずか4.3%にとどまる県があります。この県における農業の特徴として正しいものはどれですか。（2022年 栃木県公立入試 類似）
1. 広大な平野を活用し、大型機械を用いた大規模な稲作が行われており、農業産出額の半分以上を米が占めている。
 2. 気候が温暖な平野部で、冬の暖かさを利用して野菜を通常の時期より早く栽培する促成栽培が盛んに行われている。
 3. 都市近郊の立地を活かして、収穫から消費地までの輸送時間を短縮できるコマツナやホウレンソウなどの近郊農業が中心となっている。
 4. シラス台地などの地形を活かし、サツマイモや茶などの生産、および肉用牛や豚などの畜産が全国トップクラスの規模で行われている。
- 問8 日本の九州地方に位置するある県では、農業産出額の構成において「米」や「野菜」と比較して「畜産」が占める割合が非常に高く、全体の約半分に達するという特色があります。肉用牛、豚、鶏の飼育が盛んなこの県はどこですか。（2018年 岩手県公立入試 類似）
1. 埼玉県
 2. 新潟県
 3. 青森県
 4. 宮崎県
- 問9 鹿児島県などの畜産が盛んな地域では、1970年代から近年までの統計において、豚を育てる農家の数は著しく減少していますが、県全体の飼育頭数は高い水準を維持しています。このような、一戸あたりの飼育頭数が増えて経営の規模が拡大することを何といいますか。（2015年 兵庫県公立入試 類似）
1. 施設園芸農業の普及
 2. スマート農業の導入
 3. 地産地消の推進
 4. 畜産業の大規模化
- 問10 土地の条件に応じた人々の生活の工夫について、南九州のシラス台地における水利用の特徴を正しく説明しているものはどれですか。（2024年 福井県公立入試 類似）
1. 地表の土壌が非常に硬く掘削が困難なため、遠方の河川から「疎水」と呼ばれる長い水路を引いて水を確保した。
 2. 土地が非常に平坦で水が滞留しやすいため、住居を高く盛り土した「輪中」のような構造の中に井戸を掘った。
 3. 水田稲作に適した粘土質の土壌が広がっているため、ため池を各地に作り、網の目のような用水路を張り巡らせた。
 4. 火山灰が堆積した層は水分を保持しにくいため、地下数十メートルの帯水層まで届く深い井戸が作られた。
- 問11 九州地方にある4つの県を比較した資料において、以下の特徴を持つ県の地理的説明として最も適切なものはどれか。なお、この県は九州の北東部に位置し、地熱発電量が約823百万kWhに達しているものとする。（2024年 愛知県公立入試 類似）
1. 広大なシラス台地が広がり、豚や肉用若鶏（ブロイラー）の飼育頭数が全国1位である。
 2. 火山による恩恵を活かした地熱発電が盛んであり、きゅうりなどの園芸農業や豚の飼育も行われている。
 3. 温暖な気候を利用したピーマンやマンゴーの促成栽培が盛んで、平野部ではビニールハウスが多く見られる。
 4. 北九州工業地帯から続く工業集積があり、自動車産業やIC（集積回路）の生産が非常に盛んである。
- 問12 九州地方の西側に位置する東シナ海には、大陸から続く平坦な海底が広がっています。このような、一般に水深が200mよりも浅い海底地形を何と呼びますか。（2016年 岡山県公立入試 類似）
1. 大陸棚
 2. 海盆
 3. 海溝
 4. 砂州